

付 録

難病医療費助成制度の対象疾患一覧

注意：この一覧に載っている疾患でも、その程度によって制度の対象とならない場合があります。

1 球脊髄性筋萎縮症	47 バージャー病	93 原発性胆汁性胆管炎
2 筋萎縮性側索硬化症	48 原発性抗リン脂質抗体症候群	94 原発性硬化性胆管炎
3 脊髄性筋萎縮症	49 全身性エリテマトーデス	95 自己免疫性肝炎
4 原発性側索硬化症	50 皮膚筋炎／多発性筋炎	96 クロウン病
5 進行性核上性麻痺	51 全身性強皮症	97 潰瘍性大腸炎
6 パーキンソン病	52 混合性結合組織病	98 好酸球性消化管疾患
7 大脳皮質基底核変性症	53 シェーグレン症候群	99 慢性特発性偽性腸閉塞症
8 ハンチントン病	54 成人発症スチル病	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
9 神経有棘赤血球症	55 再発性多発軟骨炎	101 腸管神経節細胞僅少症
10 シャルコー・マリー・トゥース病	56 ベーチェット病	102 ルビンシュタイン・テイビ症候群
11 重症筋無力症	57 特発性拡張型心筋症	103 CFC 症候群
12 先天性筋無力症候群	58 肥大型心筋症	104 コステロ症候群
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	59 拘束型心筋症	105 チャージ症候群
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	60 再生不良性貧血	106 クリオピリン関連周期熱症候群
15 封入体筋炎	61 自己免疫性溶血性貧血	107 若年性特発性関節炎
16 クロウ・深瀬症候群	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	108 TNF 受容体関連周期性症候群
17 多系統萎縮症	63 特発性血小板減少性紫斑病	109 非典型溶血性尿毒症症候群
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	64 血栓性血小板減少性紫斑病	110 ブラウ症候群
19 ライソゾーム病	65 原発性免疫不全症候群	111 先天性ミオパチー
20 副腎白質ジストロフィー	66 IgA 腎症	112 マリネスコ・シェーグレン症候群
21 ミトコンドリア病	67 多発性嚢胞腎	113 筋ジストロフィー
22 もやもや病	68 黄色靭帯骨化症	114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群
23 プリオン病	69 後縦靭帯骨化症	115 遺伝性周期性四肢麻痺
24 亜急性硬化性全脳炎	70 広範脊柱管狭窄症	116 アトピー性脊髄炎
25 進行性多巣性白質脳症	71 特発性大腿骨頭壊死症	117 脊髄空洞症
26 HTLV-1 関連脊髄症	72 下垂体性 ADH 分泌異常症	118 脊髄髄膜瘤
27 特発性基底核石灰化症	73 下垂体性 TSH 分泌亢進症	119 アイザックス症候群
28 全身性アミロイドーシス	74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	120 遺伝性ジストニア
29 ウルリッヒ病	75 クッシング病	121 脳内鉄沈着神経変性症
30 遠位型ミオパチー	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	122 脳表ヘモジデリン沈着症
31 ベスレムミオパチー	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	123 HTRA 1 関連脳小血管病
32 自己貪食空胞性ミオパチー	78 下垂体前葉機能低下症	124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
34 神経線維腫症	80 甲状腺ホルモン不応症	126 ペリー病
35 天疱瘡	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	127 前頭側頭葉変性症
36 表皮水疱症	82 先天性副腎低形成症	128 ビッカースタッフ脳幹脳炎
37 膿疱性乾癬(汎発型)	83 アジソン病	129 痙攣重積型(二相性)急性脳症
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	84 サルコイドーシス	130 先天性無痛無汗症
39 中毒性表皮壊死症	85 特発性間質性肺炎	131 アレキサンダー病
40 高安動脈炎	86 肺動脈性肺高血圧症	132 先天性核上性球麻痺
41 巨細胞性動脈炎	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	133 メビウス症候群
42 結節性多発動脈炎	88 慢性血栓栓性肺高血圧症	
43 顕微鏡的多発血管炎	89 リンパ管筋腫症	
44 多発血管炎性肉芽腫症	90 網膜色素変性症	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	91 バッド・キアリ症候群	
46 悪性関節リウマチ	92 特発性門脈圧亢進症	

134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	190 鰓耳腎症候群	242 高チロシン血症 2 型
135 アイカルディ症候群	191 ウェルナー症候群	243 高チロシン血症 3 型
136 片側巨脳症	192 コケイン症候群	244 メープルシロップ尿症
137 限局性皮質異形成	193 プラダー・ウィリ症候群	245 プロピオン酸血症
138 神経細胞移動異常症	194 ソトス症候群	246 メチルマロン酸血症
139 先天性大脳白質形成不全症	195 スーナン症候群	247 イソ吉草酸血症
140 ドラベ症候群	196 ヤング・シンプソン症候群	248 グルコーストランスポーター1欠損症
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	197 1p36欠失症候群	249 グルタル酸血症 1 型
142 ミオクロニー欠伸てんかん	198 4p欠失症候群	250 グルタル酸血症 2 型
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	199 5p欠失症候群	251 尿素サイクル異常症
144 レノックス・ガストー症候群	200 第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	252 リジン尿性蛋白不耐症
145 ウエスト症候群	201 アンジェルマン症候群	253 先天性葉酸吸収不全
146 大田原症候群	202 スミス・マギニス症候群	254 ポルフィリン症
147 早期ミオクロニー脳症	203 22q11.2欠失症候群	255 複合カルボキシラーゼ欠損症
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	204 エマヌエル症候群	256 筋型糖原病
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	205 脆弱 X 症候群関連疾患	257 肝型糖原病
150 環状 20 番染色体症候群	206 脆弱 X 症候群	258 ガラクトースー 1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
151 ラスムッセン脳炎	207 総動脈幹遺残症	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
152 PCDH19 関連症候群	208 修正大血管転位症	260 シトステロール血症
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	209 完全大血管転位症	261 タンジール病
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	210 単心室症	262 原発性高カイロミクロン血症
155 ランドウ・クレフナー症候群	211 左心低形成症候群	263 脳髄黄色腫症
156 レット症候群	212 三尖弁閉鎖症	264 無βリポタンパク血症
157 スタージ・ウェーバー症候群	213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	265 脂肪萎縮症
158 結節性硬化症	214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	266 家族性地中海熱
159 色素性乾皮症	215 ファロー四徴症	267 高 IgD 症候群
160 先天性魚鱗癬	216 両大血管右室起始症	268 中條・西村症候群
161 家族性良性慢性天疱瘡	217 エプスタイン病	269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
162 類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	218 アルポート症候群	270 慢性再発性多発性骨髄炎
163 特発性後天性全身性無汗症	219 ギャロウエイ・モワト症候群	271 強直性脊椎炎
164 眼皮膚白皮症	220 急速進行性糸球体腎炎	272 進行性骨化性線維異形成症
165 肥厚性皮膚骨膜炎	221 抗糸球体基底膜腎炎	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症
166 弾性線維性仮性黄色腫	222 一次性ネフローゼ症候群	274 骨形成不全症
167 マルフアン症候群/ロイス・ディーツ症候群	223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	275 タナトフォリック骨異形成症
168 エーラス・ダンロス症候群	224 紫斑病性腎炎	276 軟骨無形成症
169 メンケス病	225 先天性腎性尿崩症	277 リンパ管腫症/ゴーハム病
170 オクシビタル・ホーン症候群	226 間質性膀胱炎（ハンナ型）	278 巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）
171 ウィルソン病	227 オスラー病	279 巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
172 低ホスファターゼ症	228 閉塞性細気管支炎	280 巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
173 VATER 症候群	229 肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
174 那須・ハコラ病	230 肺胞低換気症候群	282 先天性赤血球形成異常性貧血後天性赤芽球癆
175 ウィーバー症候群	231 α1-アンチトリプシン欠乏症	283 後天性赤芽球癆
176 コフィン・ローリー症候群	232 カーニー複合	284 ダイアモンド・ブラックファン貧血
177 ジュベール症候群関連疾患	233 ウォルフラム症候群	285 ファンコニ貧血
178 モワット・ウィルソン症候群	234 ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	286 遺伝性鉄芽球性貧血
179 ウィリアムズ症候群	235 副甲状腺機能低下症	287 エプスタイン症候群
180 ATR-X 症候群	236 偽性副甲状腺機能低下症	288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
181 クルーゾン症候群	237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	289 クロンカイト・カナダ症候群
182 アペール症候群	238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	
183 ファイファー症候群	239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	
184 アントレイ・ピクスラー症候群	240 フェニルケトン尿症	
185 コフィン・シリズ症候群	241 高チロシン血症 1 型	
186 ロスマンド・トムソン症候群		
187 歌舞伎症候群		
188 多脾症候群		
189 無脾症候群		

290 非特異性多発性小腸潰瘍症	311 先天性三尖弁狭窄症	331 特発性多中心性キャスルマン病
291 ヒルシユスプルング病（全結腸型又は小腸型）	312 先天性僧帽弁狭窄症	332 膠様滴状角膜ジストロフィー
292 総排泄腔外反症	313 先天性肺静脈狭窄症	333 ハッチンソン・ギルフォード症候群
293 総排泄腔遺残	314 左肺動脈右肺動脈起始症	334 脳クレアチン欠乏症候群
294 先天性横隔膜ヘルニア	315 ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）	335 ネフロン癆
295 乳幼児肝巨大血管腫	／L MX 1 B 関連腎症	336 家族性低βリポタンパク血症 1（ホモ接合体）
296 胆道閉鎖症	316 カルニチン回路異常症	337 ホモシスチン尿症
297 アラジール症候群	317 三頭酵素欠損症	338 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
298 遺伝性膀胱炎	318 シトリン欠損症	339 MECP 2 重複症候群
299 嚢胞性線維症	319 セビアプテリン還元酵素（SR）欠損症	340 線毛機能不全症候群（カルダナー症候群を含む。）
300 I g G 4 関連疾患	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	341 TRPV 4 異常症
301 黄斑ジストロフィー	321 非ケトーシス型高グリシン血症	
302 レーベル遺伝性視神経症	322 β-ケトチオラーゼ欠損症	
303 アッシャー症候群	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
304 若年発症型両側性感音難聴	324 メチルグルタコン酸尿症	
305 遅発性内リンパ水腫	325 遺伝性自己炎症疾患	
306 好酸球性副鼻腔炎	326 大理石骨病	
307 カナバン病	327 特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	
308 進行性白質脳症	328 前眼部形成異常	
309 進行性ミオクローヌスてんかん	329 無虹彩症	
310 先天異常症候群	330 先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	

障害者総合支援法の対象疾患一覧

注意：この一覧に載っている疾患でも、その程度によって制度の対象とならない場合があります。

1 アイカルディ症候群	49 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	94 結節性多発動脈炎
2 アイザックス症候群	50 潰瘍性大腸炎	95 血栓性血小板減少性紫斑病
3 IgA腎症	51 下垂体前葉機能低下症	96 限局性皮質異形成
4 IgG4関連疾患	52 家族性地中海熱	97 原発性局所多汗症
5 亜急性硬化性全脳炎	53 家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	98 原発性硬化性胆管炎
6 アジソン病	54 家族性良性慢性天疱瘡	99 原発性高脂血症
7 アッシュヤー症候群	55 カナバン病	100 原発性側索硬化症
8 アトピー性脊髄炎	56 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	101 原発性胆汁性胆管炎
9 アペール症候群	57 歌舞伎症候群	102 原発性免疫不全症候群
10 アミロイドーシス	58 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	103 顕微鏡的大腸炎
11 アラジール症候群	59 カルニチン回路異常症	104 顕微鏡的多発血管炎
12 アルポート症候群	60 加齢黄斑変性	105 高IgD症候群
13 アレキサンダー病	61 肝型糖原病	106 好酸球性消化管疾患
14 アンジェルマン症候群	62 間質性膀胱炎(ハンナ型)	107 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
15 アントレー・ビクスラー症候群	63 環状20番染色体症候群	108 好酸球性副鼻腔炎
16 イソ吉草酸血症	64 関節リウマチ	109 抗糸球体基底膜腎炎
17 一次性ネフロゼ症候群	65 完全大血管転位症	110 後縦靭帯骨化症
18 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	66 眼皮皮膚白皮症	111 甲状腺ホルモン不応症
19 1p36欠失症候群	67 偽性副甲状腺機能低下症	112 拘束型心筋症
20 遺伝性自己炎症疾患	68 ギャロウェイ・モフト症候群	113 高チロシン血症1型
21 遺伝性ジストニア	69 急性壊死性脳症	114 高チロシン血症2型
22 遺伝性周期性四肢麻痺	70 急性網膜壊死	115 高チロシン血症3型
23 遺伝性膝炎	71 球脊髄性筋萎縮症	116 後天性赤芽球癆
24 遺伝性鉄芽球性貧血	72 急速進行性糸球体腎炎	117 広範脊柱管狭窄症
25 ウィーバー症候群	73 強直性脊椎炎	118 膠様滴状角膜ジストロフィー
26 ウィリアムズ症候群	74 巨細胞性動脈炎	119 抗リン脂質抗体症候群
27 ウィルソン病	75 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	120 コケイン症候群
28 ウエスト症候群	76 巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	121 コステロ症候群
29 ウェルナー症候群	77 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	122 骨形成不全症
30 ウォルフラム症候群	78 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	123 骨髄異形成症候群
31 ウルリッヒ病	79 筋萎縮性側索硬化症	124 骨髄線維症
32 HTRA1関連脳小血管病	80 筋型糖原病	125 ゴナドトロピン分泌亢進症
33 HTLV-1関連脊髄症	81 筋ジストロフィー	126 5p欠失症候群
34 ATR-X症候群	82 クッシング病	127 コフィン・シリス症候群
35 ADH分泌異常症	83 クリオピリン関連周期熱症候群	128 コフィン・ローリー症候群
36 エーラス・ダンロス症候群	84 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	129 混合性結合組織病
37 エプスタイン症候群	85 クルーゾン症候群	130 鯉耳腎症候群
38 エプスタイン病	86 グルコーストランスポーター1欠損症	131 再生不良性貧血
39 エマヌエル症候群	87 グルタル酸血症1型	132 サイトメガロウィルス角膜内皮炎
40 MECP2重複症候群	88 グルタル酸血症2型	133 再発性多発軟骨炎
41 遠位型ミオパチー	89 クロウ・深瀬症候群	134 左心低形成症候群
42 円錐角膜	90 クローン病	135 サルコイドーシス
43 黄色靭帯骨化症	91 クロンカイト・カナダ症候群	136 三尖弁閉鎖症
44 黄斑ジストロフィー	92 痙攣重積型(二相性)急性脳症	137 三頭酵素欠損症
45 大田原症候群	93 結節性硬化症	138 CFC症候群
46 オクシピタル・ホーン症候群		139 シェーグレン症候群
47 オスラー病		140 色素性乾皮症
48 カーニー複合		141 自己貪食空胞性ミオパチー

142	自己免疫性肝炎	189	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	237	TNF 受容体関連周期性症候群
143	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	190	先天性魚鱗癬	238	低ホスファターゼ症
144	自己免疫性溶血性貧血	191	先天性筋無力症候群	239	天疱瘡
145	四肢形成不全	192	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	240	特発性拡張型心筋症
146	シトステロール血症	193	先天性三尖弁狭窄症	241	特発性間質性肺炎
147	シトリン欠損症	194	先天性腎性尿崩症	242	特発性基底核石灰化症
148	紫斑病性腎炎	195	先天性赤血球形成異常性貧血	243	特発性血小板減少性紫斑病
149	脂肪萎縮症	196	先天性僧帽弁狭窄症	244	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
150	若年性特発性関節炎	197	先天性大脳白質形成不全症	245	特発性後天性全身性無汗症
151	若年性肺気腫	198	先天性肺静脈狭窄症	246	特発性大腿骨頭壊死症
152	シャルコー・マリー・トウス病	199	先天性風疹症候群	247	特発性多中心性キャッスルマン病
153	重症筋無力症	200	先天性副腎低形成症	248	特発性門脈圧亢進症
154	修正大血管転位症	201	先天性副腎皮質酵素欠損症	249	特発性両側性感音難聴
155	ジュベール症候群関連疾患	202	先天性ミオパチー	250	突発性難聴
156	シュワルツ・ヤンベル症候群	203	先天性無痛無汗症	251	ドラベ症候群
157	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	204	先天性葉酸吸収不全	252	中條・西村症候群
158	神経細胞移動異常症	205	前頭側頭葉変性症	253	那須・ハコラ病
159	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	206	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	254	軟骨無形成症
160	神経線維腫症	207	早期ミオクロニー脳症	255	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
161	神経有棘赤血球症	208	総動脈幹遺残症	256	22q11.2 欠失症候群
162	進行性核上性麻痺	209	総排泄腔遺残	257	乳幼児肝巨大血管腫
163	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	210	総排泄腔外反症	258	尿素サイクル異常症
164	進行性骨化性線維異形成症	211	ソス症候群	259	ヌーナン症候群
165	進行性多巣性白質脳症	212	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	260	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B 関連腎症
166	進行性白質脳症	213	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	261	ネフロン癆
167	進行性ミオクローヌステんかん	214	大脳皮質基底核変性症	262	脳クレアチン欠乏症候群
168	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	215	大理石骨病	263	脳髄黄色腫症
169	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	216	ダウン症候群	264	脳内鉄沈着神経変性症
170	スタージ・ウェーバー症候群	217	高安動脈炎	265	脳表ヘモジデリン沈着症
171	スティーヴンス・ジョンソン症候群	218	多系統萎縮症	266	膿疱性乾癬
172	スミス・マギニス症候群	219	タナトフォリック骨異形成症	267	嚢胞性線維症
173	スモン	220	多発血管炎性肉芽腫症	268	パーキンソン病
174	脆弱 X 症候群	221	多発性硬化症／視神経脊髄炎	269	バージャー病
175	脆弱 X 症候群関連疾患	222	多発性軟骨性外骨腫症	270	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
176	成人発症スチル病	223	多発性嚢胞腎	271	肺動脈性肺高血圧症
177	成長ホルモン分泌亢進症	224	多脾症候群	272	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)
178	脊髄空洞症	225	タンジール病	273	肺胞低換気症候群
179	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	226	単心室症	274	ハッチンソン・ギルフォード症候群
180	脊髄髄膜瘤	227	弾性線維性仮性黄色腫	275	バッド・キアリ症候群
181	脊髄性筋萎縮症	228	短腸症候群	276	ハンチントン病
182	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	229	胆道閉鎖症	277	汎発性特発性骨増殖症
183	前眼部形成異常	230	遅発性内リンパ水腫	278	PCDH19 関連症候群
184	全身性エリテマトーデス	231	チャージ症候群	279	非ケトーシス型高グリシン血症
185	全身性強皮症	232	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	280	肥厚性皮膚骨膜炎
186	先天異常症候群	233	中毒性表皮壊死症	281	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
187	先天性横隔膜ヘルニア	234	腸管神経節細胞僅少症	282	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
188	先天性核上性球麻痺	235	TRPV4 異常症	283	肥大型心筋症
		236	TSH 分泌亢進症	284	左肺動脈右肺動脈起始症

285	ビタミンD依存性くる病/ 骨軟化症	329	慢性血栓性肺高血圧症
286	ビタミンD抵抗性くる病/ 骨軟化症	330	慢性再発性多発性骨髄炎
287	ビッカースタッフ脳幹脳炎	331	慢性膀胱炎
288	非典型溶血性尿毒症症候 群	332	慢性特発性偽性腸閉塞症
289	非特異性多発性小腸潰瘍 症	333	ミオクロニー欠神てんかん
290	皮膚筋炎/多発性筋炎	334	ミオクロニー脱力発作を伴う てんかん
291	びまん性汎細気管支炎	335	ミトコンドリア病
292	肥満低換気症候群	336	無虹彩症
293	表皮水疱症	337	無脾症候群
294	ヒルシュスブルング病(全 結腸型又は小腸型)	338	無βリポタンパク血症
295	VATER 症候群	339	メープルシロップ尿症
296	ファイファー症候群	340	メチルグルタコン酸尿症
297	ファロー四徴症	341	メチルマロン酸血症
298	ファンconi貧血	342	メビウス症候群
299	封入体筋炎	343	メンケス病
300	フェニルケトン尿症	344	網膜色素変性症
301	フォンタン術後症候群	345	もやもや病
302	複合カルボキシラーゼ欠 損症	346	モワット・ウイルソン症候群
303	副甲状腺機能低下症	347	薬剤性過敏症症候群
304	副腎白質ジストロフィー	348	ヤング・シンプソン症候群
305	副腎皮質刺激ホルモン不 応症	349	優性遺伝形式をとる遺伝性 難聴
306	ブラウ症候群	350	遊走性焦点発作を伴う乳児 てんかん
307	プラダー・ウィリ症候群	351	4p 欠失症候群
308	プリオン病	352	ライゾゾーム病
309	プロピオン酸血症	353	ラスマッセン脳炎
310	PRL 分泌亢進症(高プロ ラクチン血症)	354	ランゲルハンス細胞組織球 症
311	閉塞性細気管支炎	355	ランドウ・クレフナー症候群
312	β-ケトチオラーゼ欠損症	356	リジン尿性蛋白不耐症
313	ベーチェット病	357	両側性小耳症・外耳道閉鎖 症
314	ベスレムミオパチー	358	両大血管右室起始症
315	ヘパリン起因性血小板減 少症	359	リンパ管腫症/ゴーハム病
316	ヘモクロマトーシス	360	リンパ脈管筋腫症
317	ペリー病	361	類天疱瘡(後天性表皮水疱 症を含む。)
318	ペルーシド角膜辺縁変性 症	362	ルビンシュタイン・テイビ症候 群
319	ペルオキシソーム病(副腎 白質ジストロフィーを除 く。)	363	レーベル遺伝性視神経症
320	片側巨脳症	364	レシチンコレステロールアシ ルトランスフェラーゼ欠損症
321	片側痙攣・片麻痺・てんか ん症候群	365	劣性遺伝形式をとる遺伝性 難聴
322	芳香族L-アミノ酸脱炭酸 酵素欠損症	366	レット症候群
323	発作性夜間ヘモグロビン 尿症	367	レノックス・ガストー症候群
324	ホモシスチン尿症	368	ロスムンド・トムソン症候群
325	ポルフィリン症	369	肋骨異常を伴う先天性側弯 症
326	マリネスコ・シェーグレン症 候群		
327	マルファン症候群/ロイ ス・ディーツ症候群		
328	慢性炎症性脱髄性多発神 経炎/多巣性運動ニュー ロパチー		

介護保険制度について

原則として、障害者福祉制度と同様のサービスが介護保険で受けられる場合には、介護保険を優先することとされています。

介護保険の概要	第1号被保険者	第2号被保険者
対象者	65歳以上の人	40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人
保険料	14段階の所得段階区分に応じて決まります。	加入している医療保険の算定方法に基づき、決まります。
保険料の支払方法	<ul style="list-style-type: none"> ●特別徴収 1つの年金の年間受給額が18万円以上の人は年金から天引きされます。 	<p>各種医療保険料と一括して支払います。</p> <p>※詳しくは下記へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市国民健康保険加入の人は国保年金課 国保年金担当または各支所地域づくり課地域担当へ ・その他、各種医療保険に加入の人はお勤め先の担当者等へ
	<ul style="list-style-type: none"> ●普通徴収 1つの年金の年間受給額が18万円未満の人、65歳になった直後の人は特別徴収に切り替わるまで納付書または口座振替で納めていただきます。 	
<p>給付の対象者</p> <p>※給付を受けるには「要介護認定」が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●寝たきり・認知症等で入浴、排泄、食事などの日常生活に介護が必要な人（要介護） ●家事や身支度などの日常生活に支援が必要な人（要支援） 	<p>加齢に伴う病気（特定疾病）によって介護または支援が必要な人</p> <p>【特定疾病 16疾病】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①がん ②関節リウマチ ③筋萎縮性側索硬化症 ④後縦靭帯骨化症 ⑤骨折を伴う骨粗鬆症 ⑥初老期における認知症 ⑦パーキンソン病（関連疾患） ⑧脊髄小脳変性症 ⑨脊柱管狭窄症 ⑩早老症 ⑪多系統萎縮症 ⑫糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症 ⑬脳血管疾患 ⑭閉塞性動脈硬化症 ⑮慢性閉塞性肺疾患 ⑯両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

介護保険で受けられるサービス

【◎障がい者福祉にもあるサービス ○介護保険のサービス】

	在宅サービス (居住系サービス含む)	施設サービス
要介護者	<ul style="list-style-type: none"> ◎訪問介護（ホームヘルプサービス） ◎訪問入浴 ○訪問看護 ○訪問リハビリテーション ◎通所介護（デイサービス） ○通所リハビリテーション（デイケア） ○居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師等による訪問指導) ◎短期入所生活介護（ショートステイ） ◎短期入所療養介護（ショートステイ） ◎地域密着型通所介護（デイサービス） ○地域密着型特定施設入居者生活介護 ○認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者のグループホーム) ○特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等における介護) ○福祉用具の貸与 ◎福祉用具の購入費の支給 ◎住宅改修費の支給(手すり、段差の解消など) ○小規模多機能型居宅介護 ○看護小規模多機能型居宅介護 ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ○認知症対応型通所介護 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護老人福祉施設(要介護3以上) (特別養護老人ホーム) ○介護老人保健施設 (老人保健施設) ○介護療養型医療施設 (療養型病床群など) ○介護医療院 ○地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護（要介護3以上）
要支援者	<ul style="list-style-type: none"> ○同上（ただし、訪問介護、通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護を除く） ○介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防生活支援サービス事業) 	要支援者は施設入所できません。
事業対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防生活支援サービス事業) 	事業対象者は施設入所できません。

後期高齢者医療について

後期高齢者医療は、75歳以上の人が被保険者となる制度です。65歳以上75歳未満の人で一定程度の障がいがある人は、長野県後期高齢者医療広域連合の認定を受けると、後期高齢者医療保険に加入することができます。

後期高齢者医療保険へ加入する人は、現在、ご加入の健康保険から脱退することになり、被保険者ごとに保険料が賦課されます。

詳細については、担当課窓口までお問い合わせください。

一定程度の障がいとは

- ・身体障害者手帳1～3級
- ・身体障害者手帳4級のうち音声・言語・そしゃく障害と下肢障害（1・3・4号）
- ・療育手帳「A」
- ・精神障害者保健福祉手帳1、2級
- ・国民年金などの障害年金の1、2級

○窓口 国保年金課 TEL71-2475 各支所地域づくり課地域担当

<申請にご持参いただくもの> ①障害者手帳（身体・療育・精神）

※障害年金で申請される方は年金証書

②現在お持ちの健康保険証

③通帳（保険料：引き落としの口座）

④通帳印

特別児童扶養手当等の所得制限について

判定の対象となる所得の計算は、控除の取扱いなど所得税・住民税の計算とは異なります。

○所得の計算方法

所得(源泉徴収票の給与所得控除後の額)－下記の各種所得控除＝判定の対象となる所得

控除額	社会保険料控除	80,000 円控除
	雑損控除	控除相当額 (源泉徴収票または確定申告書に記載されている額)
	医療費控除	
	小規模企業共済等掛金控除	
	配偶者特別控除	
	障害者控除	270,000 円控除
	特別障害者控除	400,000 円控除
	寡婦控除	270,000 円控除
	ひとり親控除	350,000 円控除
	勤労学生控除	270,000 円控除

○特別児童扶養手当所得制限限度額表

扶養親族等の人数	本人（受給者）	配偶者と扶養義務者※
0 人	4,596,000 円	6,287,000 円
1 人	4,976,000 円	6,536,000 円
2 人	5,356,000 円	6,749,000 円
3 人	5,736,000 円	6,962,000 円
4 人	6,116,000 円	7,175,000 円
5 人	6,496,000 円	7,388,000 円
6 人～	1 人増すごとに 380,000 円加算	1 人増すごとに 213,000 円加算

- ・本人に同一生計配偶者（70 歳以上の者に限る）・老人扶養親族がある場合は、1 人につき 100,000 円を加算、特定扶養親族・16 歳以上 19 歳未満の控除対象扶養親族がある場合は 1 人につき 250,000 円を加算
- ・配偶者および扶養義務者に老人扶養親族がある場合は、1 人につき 60,000 円を加算（扶養親族が老人のみの場合は 2 人目から）
- ・扶養親族等の人数は税法上の扶養人数です。
- ・給与所得又は公的年金等に係る所得がある場合には、給与所得及び公的年金等に係る所得の合計額から 10 万円を控除した額

○特別障害者手当・障害児福祉手当所得制限限度額表

扶養親族等の人数	本人（受給者）	配偶者と扶養義務者※
0人	3,604,000円	6,287,000円
1人	3,984,000円	6,536,000円
2人	4,364,000円	6,749,000円
3人	4,744,000円	6,962,000円
4人	5,124,000円	7,175,000円
5人	5,504,000円	7,388,000円
6人～	1人増すごとに380,000円加算	1人増すごとに213,000円加算

- ・本人に同一生計配偶者(70歳以上の者に限る)・老人扶養親族がある場合は、1人につき100,000円を加算、特定扶養親族・16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族がある場合は1人につき250,000円を加算
- ・配偶者および扶養義務者に老人扶養親族がある場合は、1人につき60,000円を加算(扶養親族が老人のみの場合は2人目から)
- ・扶養親族等の人数は税法上の扶養人数です。

※表での扶養義務者とは、

民法上の扶養義務者（直系血族及び兄弟姉妹。養子縁組をしている場合は配偶者の血族も対象。）で、かつ、受給資格者の生計を現に維持している者（住民票上世帯分離をしても、同一地番に住む者はこの扶養義務者にあたります。）です。